R・シュトラウス作曲　歌劇「インテルメッツォ」

240414

幕	場	場面	内容	分		歌う登場人物										見どころ
第一幕 80分	1	朝から夫婦喧嘩をしている	妻クリスティーネは、朝七時から、マイスターの夫ロベルト・シュトルヒが二ヶ月間の演奏旅行に出るので、いらついている。ロベルトは、いつもヒステリーを起こしている、と批判する。	24	12		アンナ	クリスティーネ	ロベルト							
			一人になったクリスティーネは、女中のアンナを相手に気を紛らわす。 友人からスキーに誘われ、10時に迎えに来てくれることになった。		12		アンナ	クリスティーネ								マリー・女性シェフ 息子フランツル
	2	クリスティーネはスキー場で知り合いダンスを楽しみ部屋を借りてあげる	クリスティーネは、22歳の貧乏男爵ルンマーと出会う。ルンマーは、クリスティーネの両親の友人、リンツ軍隊所属のルンマー大佐の息子であるが、無職で貧乏男爵である。	16	2	間奏曲										
					3	ルンマー		クリスティーネ								
			クリスティーネは、スキーの後、バートイシュル近郊のグランドル湖のホテルでルンマーと、ダンスを楽しむ。		3	間奏曲										
					4	ルンマー		クリスティーネ								
			クリスティーネは、公証人の家の貸部屋を、ルンマーのために療養用に借りてあげる。		2	間奏曲										
					3			クリスティーネ							公証人の妻	
	3	クリスティーネはロベルトに手紙を書き ルンマーはクリスティーネに手紙を書く	クリスティーネは、ロベルトに近況報告の手紙を書いている。そこに、いつものようにルンマーが遊びに来た。貧乏なルンマーが無心に来たのであるが、断る。	30	2	間奏曲										
					22	ルンマー		クリスティーネ								
			ルンマーの彼女のレージイが、部屋に遊びに来ている。 その後ルンマーは、クリスティーネに悪意に満ちた手紙を書いている。		2	間奏曲										
					4	ルンマー									公証人の妻	ルンマーの女友達のレージイ
	4	離婚を決意するが息子は同意しない	クリスティーネは、ルンマーと正体不明の女性から手紙を受け取る。 ルンマーはお金を貸してくれという内容だが、本人に断る。 正体不明な女性からは、ロベルト宛の浮気の手紙であり、離婚することを決意する。	10	2	間奏曲										
					5	ルンマー	アンナ	クリスティーネ								
			クリスティーネは、パパが浮気していると言い、息子フランツルに2人で家出しようと話するが、「パパはそういう人でない。」と慰める		1	間奏曲										
					2			クリスティーネ								フランツル
第二幕 70分	1	離婚通知の電報が届く	商工業顧問官の家でクリスティーネの悪口を言いながら、カードを楽しんでいる。 そこにクリスティーネから離婚する旨の電報が来る。 指揮者のシュトローは、正体不明の女性がミッツェ・マイヤーであることを知っていた。	20	2	間奏曲										
					18				ロベルト	シュトロー	商工業顧問官	法律顧問官	宮廷歌手			
	2	公証人は離婚手続を拒否する	クリスティーネは、公証人に離婚手続を依頼する。しかし、公証人は、ロベルトを信頼しており、依頼を引き受けない。	7	2	間奏曲										
					5			クリスティーネ						公証人		
	3	指揮者シュトローはロベルト夫妻に説明する	ウィーンのプラター公園で、ロベルトは、シュトローから、電報を発信した女ミッツェ・マイヤーが、間違えて、「シュトロー」でなく「シュトルヒ」に出したことを教えられた。	20	2	間奏曲										
					6				ロベルト	シュトロー						
			クリスティーネは、トランクに衣類を詰めて家出の準備をしている。 そこに、シュトロー自身が真実を説明しに来る。		4	間奏曲										
					8		アンナ	クリスティーネ								マリー
	4	二人は仲直りする	クリスティーネは、事情を知ったが、なおもクドクドとロベルトに愚痴る。 ロベルトが怒りを爆発させる。	23	2	間奏曲										
					5			クリスティーネ	ロベルト							マリー
			訪問しにきたルンマーをあしらったクリスティーネは、ロベルトに「二度と反抗しません」と誓い、許しを請う。		16	ルンマー		クリスティーネ	ロベルト							

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。